

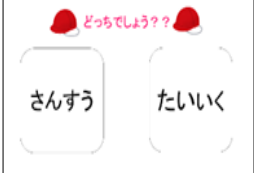




小学部	
題材・教材名【 がっこうクイズ 】 領域・教科【 国語 】	
ねらい	<p>① 自分から授業に参加し、友達の前でクイズに答えることができる。</p> <p>② 問題や教師の言葉がけを聞きながら、二者選択で写真を選ぶことができる。</p> <p>③ 教科と平仮名の文字を一致させることができる。</p>
写真	<p>プレゼンテーションソフト</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-end;"> <div style="text-align: center;">  <p>写真1</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真2</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真3</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>写真4</p> </div> </div>
教材使用方法	<p>学校の中の場所や教科の名前をクイズ形式で答える。</p> <p>①プレゼンテーションソフトで問題を見せる（写真1）。</p> <p>②ヒントを紹介する（写真2）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が問題を読みながら、ヒントとなる言葉がけをする。 <p>③写真や文字の中から正解を選ぶように促す（写真3・4）。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真を見て学校内の場所を選択することができるか、文字を見て教科の名前を選択することができるか確認する。 <p>今回は、「がっこう」という題材でプレゼンテーションソフトを使用してクイズ形式で授業を行った。小学4年生から給食を食堂で食べたり、「こくご・さんすう」が「こくご」「さんすう」に教科が分かれたという変更点を理解してほしいという思いからクイズ形式で授業を行った。同じ問題を繰り返し提示したことで、児童は画面に映された絵や写真を見て、知っている物が出てきたら「ピアノ」などと声に出していた。また、発語がある児童には、答えを選択するときに声を出して「ほけんしつ」などと答えるように促した。正解を発表した後に、教師が一文字ずつ口の動かし方や発音をはっきり見せて、何度か繰り返し練習した。ほかに、教科の平仮名の名前を選ぶ活動では、同じ問題を何度か繰り返し行うことで、教科と平仮名が一致できるよう、取り組んだ。</p>
児童・生徒の様子など	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から授業に参加することが苦手な児童も積極的に授業に参加する姿が見られた。 ・ヒントで赤白帽子などの児童にとって分かりやすい絵を取り入れることで、物の名前を言う児童もいた。 ・何度も同じ問題を繰り返すことで、問題を覚えて答えることができるようになった。 ・問題とは関係なく、自分が行きたい場所を選ぶ児童がいたときの対応として、二者選択の上に絵を入れることで確認しながら選ぶことができた。 ・反省点として、全員が答えを選び終わった後に正解を発表するのではなく、一人ずつ答えを伝えた方が伝わりやすいと感じた。 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;">   </div>